



院長
伊藤 真理子
プロフィール

●(いとう・まりこ)1986年山形大学医学部卒業。山大病院、篠田病院を経て2005年6月に真理子レディースクリニックを開業。日本産科婦人科学会認定産婦人科専門医。

真理子先生の

女性の **ココロ**

月経困難症

新年おめでとうございます。今年最初のテーマは、月経(生理)時に痛みなど日常生活に支障をきたすような症状があらわれる「月経困難症(≡月経痛、生理痛)」を取り上げたいと思います。

子宮が収縮する痛み

そもそも月経とは、妊娠に備え厚くなった子宮内膜が、妊娠しなかった場合に不要になって剥がれ、子宮から流れ出る際の出血を指します。月経困難症はその時に子宮が収縮する痛みなのです。特に成長途中のお嬢様は、子宮の出口である子宮頸管が細いため辛さが

深刻になることがあります。出産すると症状が和らぐのは子宮頸管が柔らかくなるからです。

腰痛や頭痛、吐き気も

痛みは下腹部の痛みが一般的ですが、腰痛や頭痛などもあります。子宮の強い収縮の痛みは胃腸にも影響し、吐き気や嘔吐、下痢を伴う場合もあります。



子宮は冷えるほど収縮しやすくなりますので、

冷え症で月経困難症にお悩みの方も多はず。お腹や腰に使い捨てカイロを早めに貼り、手足を含め全身を温める工夫をして下さい。子宮の収縮を和らげる薬や鎮痛剤も市販されています。

治療に低用量ピルも

本来は避妊目的で開発された低用量ピルの中にも、月経困難症の治療薬として健康保険適応になっているものが数種類あります。特に治療用の低用量ピルを日本ではLEP製剤と呼んでいます。今の時代に月経痛を我慢するのはもったいないことだと思います。

効果が見込めるLEP

徐々に月経痛が強まる方の中には、「子宮内膜症」という病気の方や将来なる可能性が高い予備軍の方々がも多いのも気がかり。LEP製剤は予備軍の方の進行も食い止めるかとされています。

〈産婦人科〉

真理子レディースクリニック

☎023-632-0666 山形市小姓町 6-35

●診療時間

【平日】午前/8時30分~12時
午後/14時~17時

【木曜】午前/8時30分~11時

【土曜】午前/8時~11時

●休診日

日・祝祭日

木・土曜日は午後休診となります。

